

令和8年1月27日(火)

@京都刑務所

令和7年度 矯正施設所在自治体会議 近畿部会

令和7年度及び同8年度の議長市である京都市の担当者と、今年度当初から、「自治体が矯正施設の実情を詳しく知り、出席者同士の交流が深められる会議にしよう。」と、打合せを重ね、京都刑務所の全面協力を得ながら、本部会を開催することができました。

本部会の企画内容として、京都刑務所LCEC(福祉的支援課程対象受刑者が日中活動する場所)の詳細な見学や、同所近隣の福祉事業所・京都市内で生きづらさを抱える方々への支援を行うカフェの方々にも支援者ブースの形で参加いただくなど、出席者間で自由な意見交換の場を設けました。

？ 矯正施設所在自治体会議とは ？

令和元年6月12日、矯正施設が所在する市町村の首長間でネットワークを形成し、矯正施設が所在する自治体が率先して、地域ぐるみの再犯防止施策の推進、矯正施設の人的・物的資源を活用した地域創生策等のために、情報交換、調査研究、国及び都道府県への政策提言、地域住民への啓発活動等を行うことを目的に設立されました。



〔議長市〕京都市
吉田 良比呂副市長



宇治市
松村 淳子市長



交野市
山本 景市長



出席者集合写真

出席された自治体の皆様 ※自治体コード順

- ・京都市福祉のまちづくり推進室〔議長市〕
- ・宇治市 松村淳子市長(オンライン)
- ・堺市地域共生推進課
- ・茨木市地域福祉課(オンライン)
- ・交野市 山本景市長
- ・神戸市相談支援課
- ・姫路市市民活動推進課
- ・奈良市長寿福祉課
- ・和歌山市人権同和施策課

オブザーバー参加

- ・大津市福祉政策課(オンライン)



支援者ブースと
意見交換の様子



刑務所作業製品 展示・販売



京都刑務所長による
所内案内



令和7年度の取組 振り返り

本年度も、再犯防止推進を目的として、



再犯防止啓発月間(7月)



交野市×交野女子学院
かたのセタプロジェクト



奈良市
社明運動 市役所内パネル展



奈良少年院×奈良保護観察所等
パネル展示



明石市
社明運動 啓発講演会



尼崎市保護司会
社会を明るくする集い



宇治市×京都医療少年院
パネル・作品展示



大阪府×東大阪市
×大阪府立中央図書館
パネル・刑務所作業製品展示



デジタルサイネージ
他の自治体にも放映いただきました！

堺市



姫路市



和歌山市



居住支援協議会等との意見交換会

@奈良少年院



@京都刑務所



詳しくはバックナンバー(第29号)をご覧ください。

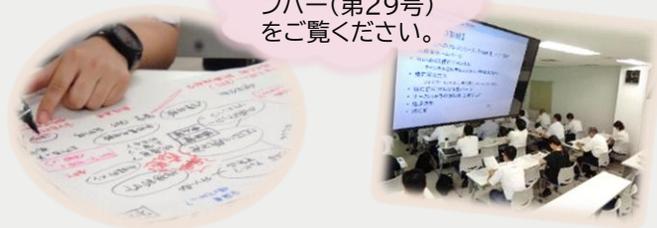
京都府
住宅政策課
との共催



地域とともに取り組みました。 ※主な取組をご紹介します。

再犯防止×地方創生政策 ワークショップ型研修

詳しくはバックナンバー(第29号)をご覧ください。



[番外] 矯正展

関西矯正展 @大阪刑務所

地域内外から、大勢の皆さんで賑わいました!



この他にも多くの地域で開催されました。

未来へのチャレンジ展inかたの @フレンドタウン交野



農福連携意見交換会

@管内7刑務所(京都・大阪・神戸・加古川・播磨セ・和歌山・姫路少)

農福連携事業者等をお招きし、農作業や刑務所出所者を受け入れること等について矯正施設職員と意見交換を行いました。また、施設内の見学も行いました。



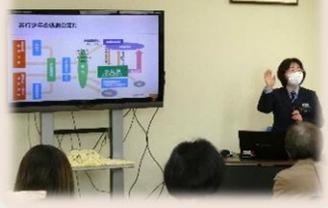
地域連携セミナー

再犯防止・更生支援について、関係団体や市民の皆様に向けたセミナーを行いました。また、施設内の見学も行いました。

滋賀県@大津少年鑑別所



宇治市@京都医療少年院





令和7年度 近畿ブロック ～民間協力者による社会課題解決としての再犯防止の取組～

再犯防止シンポジウム

つながるちから 地域のちから

令和8年
2月5日(木)

@立命館大学朱雀キャンパス&
Zoomウェビナー

令和8年2月5日(木)、法務4機関主催の標記シンポジウムを開催しました。当日は、会場137名・オンライン186箇所、合わせて323名・箇所の方々にご参加いただきました。



各機関の広報ブース

京都刑務所ブース

基調講演

「つながる地域が人を変える - 共に生きる地域共生社会と再犯防止の実践 -」

平田 敦之 氏(彦根保護区保護司会 会長)

年齢・性別に関係なく多くの人々が自由に集える居場所づくりを通じて、出所者だけでなく、生活困窮者なども気負いなく参加できる仕組みを構築し、その中で、生きづらさを気兼ねなく吐露できる機能を持たせる工夫など、様々な取組についてお話いただきました。



パネルディスカッション

コーディネーター

森久 智江 氏(立命館大学法学部 教授)

パネリスト

平田 敦之 氏(彦根保護区保護司会 会長)

山田 真紀子 氏(一般社団法人よりそいネットおおさか 事務局長)

各務 正敏 氏(社会福祉法人交野市社会福祉協議会 次長兼課長)

松本 隆行 氏(兵庫県弁護士会 弁護士)

榊原 典俊 氏(社会福祉法人青葉仁会 理事長)

櫛引 唯一郎 氏(京都刑務所 所長)

指定討論者

立命館大学 学生2名

各パネリストの取組紹介の後、指定討論者からは、支援の流れのどこに各パネリストの取組が位置するかをまとめたうえで、質問がなされました。

各パネリストからは、「支援に終わりはない」「支援対象者が自分の足で立てること、地域に居場所を見つけることを目指している」「支援を受けることに消極的な方にも寄り添い続ける」など、それぞれのお立場から回答をいただきました。

また、会場及びオンライン参加者からの質問についても、時間の許す限り、それぞれご回答いただきました。

関係者の皆様のご尽力のもと、本シンポジウムは盛況のうちに閉会しました。



◀「更生支援企画課だより」バックナンバー

